

ゆりはま議会だより

令和 8 年 4 月 30 日発行

発行：鳥取県湯梨浜町議会



「^{さあたいち}長瀬をつむぐ、相田市」関連記事は裏表紙

- 温泉熱活用でフルーツ栽培 … 3
- 給食費負担軽減へ …………… 8

- 生成 AI 導入へ …………… 6
- 意見交換会への回答 ……19



議会ホームページ・
YouTube はこちらから！

町の財政(財布)を住民に分かりやすく

今後の町政運営に総括質疑

3月定例会は、2日から17日までの16日間の会期で開催され、令和8年度予算は予算特別委員会を設置して審査を行ないました。

本定例会では、令和8年度予算をはじめ、補正予算や条例の改正、人事案件など41議案を審議し、すべて原案どおり可決しました。また、議員提出議案3件も原案どおり可決しました。



光井 哲治議員

総合計画、過疎計画、地方創生戦略などを改訂。事業と財政(財布)は表裏一体。いかに住民に理解されるかが、一番「カギ」となるのではないかと。

答 財政(財布)が厳しさを増す中、各計画と予算、決算などのつながりを分かりやすく住民に理解していただけるか、事業廃止、資料、方法など模索していきたい。

今後の社会保障費の増加や施設更新を見据えた財政見通し、跡地活用の方向性、施設整備・将来の住民サービスの在り方、さらに町の将来像と庁舎整備の考えは。

答 財政は改善しており、健全運営に努める。跡地は企業誘致を進める。町営住宅は状況に応じ検討、住民サービスは維持を基本に必要な見直しを行なう。令和8年度は活性化を図る年とし、庁舎は中長期で検討する。



浜中 武仁議員

令和8年度予算における最重要テーマと、その軸は何か。また、限られた財源の中で何を優先し、何を抑えたのか、その判断基準は何か。

答 自主財源の強化を軸に各施策を推進。実施する事業はすべて重要としつつ、住民に納得される説明と地域再生の視点を重視して判断した。



小川 遊議員

予算の詳細は「広報ゆりはま4月号」をご覧ください。



どうなる温泉熱活用構想

501万円

議員の視点

本町の特有資源である「温泉熱」を活用し、高付加価値フルーツの生産・販売による新産業創出と次世代農業教育拠点の構築をめざす事業。

当初の基本構想は滞在型観光施設ではなかったのか。

答 素案段階では、観光案内所を含む観光交流施設を本事業の軸としていた。



光井 哲治議員

構想の軸が温泉熱を利用したフルーツ栽培に変更になったのはなぜか。

答 まず温泉熱を利用したフルーツ栽培ができるかどうかを軸にして、将来構想として幅を持たせた地域活性化につなげる案とした。



米田 強美議員

専門家招へいが 必要か

590万円

地域活性化に関する専門家を招へいし、本町の魅力や価値向上につながる指導や助言を受ける。

令和6年度からスタートした本事業の手応えや内容は。

答 道の駅・温泉街の活性化などでアドバイスを受けており、専門家の着眼点や地域経済への結びつけ方など、大変参考になっている。



温泉でさらなる地域活性化を

地元負担の増大へ町の支援を

756万円

議員の視点

藤津地区の急傾斜地崩壊対策事業に係る地元負担金が増加するため、町が支援を行なう。

事業期間が大幅に伸び、事業費が増大した理由は。また、町の支援内容は。

答 国交付金の配分が十分でなかったことや物価の高騰、追加工事などが原因。町支援として地元負担金を40%減免する。

地元が負担金を払えない場合はどうなるのか。

答 地元・町・県で相談させていただく。



河田 洋一議員

完全無償化の実現を

5171万円

町立小学校の給食費の保護者負担軽減を目的に、給食センターおよび泊小学校給食会計などに国から受けた補助金を交付する。

議員の視点

完全無償化ではないのか。

答 国はこれまで無償化と言ってきたが、今回の国補助上限額は1人当たり月額5200円であり、本町では1食当たり約50円の保護者負担が必要となる。

子育て支援の充実は本町の売り。完全無償化の実現に向け、国や県に働きかけてほしい。

答 国にも地方の多様な状況を反映していただくように要望していく。



増井 久美議員



栄養満点の学校給食
(泊小学校)

副食費の 無償化は

80万円

こども園などの副食費保護者負担額を1人当たり月額4500円に据え置くことにより、家計の負担を軽減する。

小学校給食の無償化が検討される中、こども園の副食費を無償化しない理由は。

答 物価高騰交付金を活用して料金を据え置くほか、他の経済的支援も形になっているため、総合的に判断した。

部活動の地域展開の状況は

263万円

湯梨浜中学校の部活動に、地域の専門的指導者を配置。あわせて、本町独自の地域クラブ認定に向けて、要綱作成や審査会などを行ない地域展開を進める。

議員の視点

指導者の応募が少ない原因は。また、本町独自の地域クラブ認定に向けたスケジュール感は。

答 報酬だけでは生活が難しく、部活動の時間帯である平日の夕方に都合がつく方も限られているため、大学生に関わっていただけないかなど模索していく。令和9年4月から、認定した地域クラブの活動の展開を進めていく。



三谷 侑生議員

本会議での採決結果

件名		議案（陳情）に対する表決 （○：賛成 ×：反対 欠：欠席 棄：棄権）										議決結果	
		光井	小川	河田	増井	小泉	森	米田	浜中	南	三谷		松岡
議案	議案第16号 令和8年度湯梨浜町国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	賛成10人 可決
	議案第50号 湯梨浜町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	賛成10人 可決
陳情	保育所等に対する社会福祉施設職員等退職手当共済制度の公費助成の継続を求める意見書の提出を求める陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成11人
	生活保護基準引き下げ違法の最高裁判決を踏まえ速やかな対応を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成11人
	非核三原則の堅持を求める意見書の提出について（陳情）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成11人
	東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	賛成10人

※議案の採決は、磯江議長を除く11人で行ないます。 ※上記以外の議案は、全会一致で可決しました。

請願・陳情審査結果

常任委員会に付託した請願・陳情は、慎重に審査を行ない、次のとおり決定しました。

件名	採決結果	委員会の意見
保育所等に対する社会福祉施設職員等退職手当共済制度の公費助成の継続を求める意見書の提出を求める陳情書	採 択	国に意見書を送付
生活保護基準引き下げ違法の最高裁判決を踏まえ速やかな対応を求める陳情	採 択	—
非核三原則の堅持を求める意見書の提出について（陳情）	採 択	国に意見書を送付
東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情	採 択	—
政府に所得補償（直接支払い）制度の実現を求める請願書	継続審査	—

総務産業常任委員会・教育民生常任委員会、執行部から事業説明を受けるとともに、事業の執行状況や効果などについて質疑を行いました。その主なものを掲載します。

生成AI導入へ

☆令和8年度から職員の業務へ生成AIを導入し、文書作成の支援や企画立案の補助などによる業務効率化を進める。*ChatGPTの自治体向けに安全性を高めたバージョンを利用。入力した内容が外部へ流出するおそれがない方式を採用する。

※ChatGPT

対話型の生成AI（人工知能）サービス

から参照してくる仕組み。

問 安全性が高い一方、得たい情報をきちんと得られるのか。

答

AIへ学習させる情報は、庁内に新設する専用サーバーのみへ蓄積され、外部からは分らない。専用サーバー内で答えが出せない質問への回答は、外部のインターネット



生成AI導入で業務効率化

問

導入費用は。

答

初年度は専用サーバーの設置が必要のため、約92万円。次年度以降は毎年定額で約37万円となる予定。

問

のか。

庁内での活用や機運の醸成をどのように図る

答

AI活用の推進会議を立ち上げ、研修を行なっていくとともに、業務効率化のコツなどを、職員全体に共有していく。

ウェルビーイング タウンプロジェクト始動

☆東郷池を中心に、社会・環境・経済の3つの視点からウェルビーイング（心身ともに満たされた状態）のまちづくりを進める取組。職員が課を横断して検討し、子どもの全天候型遊び場や東郷池周辺の環境整備などの事業化を検討する。

問

子どもの遊び場整備のスケジュールは。

答

現時点での具体的なスケジュールは未定。

問

課を横断した検討を行なうに至ったきっかけは。また、今後の事業の進め方は。

答

SDGsの検討から派生させ事業化を模索したが、今後は、それぞれの担当課が主体となって検討を深める。

関係人口の創出を図る

☆温泉街周辺のにぎわいを創出し、ゲストハウスや、コワーキングスペースなどを整備し、起業や新規就農につなげ、地域経済の再構築を図る。令和8年度から10年度までの3か年計画。

問

目標を数値化して、それが達成できるように進めてほしい。民間の投資を呼び込む視点がないと続かないのでは。

答

地域間の経済循環が高まるところが最終的な狙いである。成果が得られるように取り組みたい。

問

地域おこし協力隊の募集ページに、仕事のイメージが湧く内容載せるべきでは。

答

ホームページなど改められるところは改めたい。

遅れる今滝梨団地造成工事

☆工事の遅れが続ぎ、入植者に迷惑をかけている状況が続いている。3月下旬には定植を始められるよう、担当課から施工業者に強く指示をしている。

問 遅れの原因を究明し、十分な検討および反省をしていただきたい。

遅れの原因を究明し、十分な検討および反省をしていただきたい。

答 担当課として施工管理や入札の時期などを反省し、今後は、適切に対応していきたい。

問 工期遅れに対するペナルティなど、施工業者へ工事請負のルールなどを示すべきでは。

答 町の発注遅れなど、も一因ではあるが、改めて請負契約のルールをしっかりと示したい。

問 工事を次年度に繰



完成が待たれる今滝梨団地

答 県や国と調整をしており、繰り越して実施できるとの確認は取れている。

県内全路線バスにICOCA導入

☆運用開始日は今年3月21日。交通系ICサービスICOCAは運賃の支払いやコンビニ、飲食店でも利用

可能。販売場所はJR倉吉駅やバスセンターなど。チャージはバスの車内やコンビニでも可能。

問 バスの乗客数が少ない現状で、導入する理由は。

答 県内すべての自治体が導入の対象になっている。現金の支払いも可能。

問 導入に係る本町の負担は。

答 車両台数比率で按分しており、本町の場合は約625万円。ランニングコストは、年間約20万円の予定。

下水道事業にウォーターPPPを導入検討

☆人口減少による使用料収入の減少、施設の老朽化対策費の増大などにより、*ウォーターPPPを県（天神川流域下水道）および中部1市4町が共同導入する

問 本町で対象となる範囲は。

答 羽合、東郷地域の公共下水道と泊地域の特定環境保全公共下水道が対象。

問 いつからウォーターPPPを導入するのか。

答 令和11年度から導入予定。業者選定、事業実施に向けアドバイザー業務を委託する。



ICOCA販売機
(倉吉バスセンター)

小学校給食費

負担軽減へ

☆国・県の支援金と町の補助金により、1食当たり50円程度の保護者負担となる。完全無償化にはなっており、保護者への丁寧な説明が求められる。

問 保護者負担分を町が負担する考えはなにか。

答 試算では、町負担には850万円程度かかる見込み。完全無償化に当たっては、国の学校給食法「食材相当額は保護者負担」の条文改正が必要と判断している。

問 本来に子育て支援に力を入れるとどうであれば、町が負担する気概を見せてもらいたい。

答 国の財源や栄養基準の達成を考えると、幾らかの保護者負担があったほうがよいと判断した。



ランチルームで楽しい給食
(泊小学校)

問 保護者は「完全無償化」と理解していると思いが、説明は行なったのか。

答 まだ説明していない。給食運営委員会やPTA総会などの場で説明していく。

地域介護を支える施設 廃止や休止あり

☆町内の介護事業所において、廃止や運営の変更が見られる。利用者の安心を守る対応や、従業員についても意見が交わされた。

問 地域密着型事業所の指定を受けてから1年もたず廃止となったが、見通しが甘かったのでは。

答 町は、申請書類に問題がなければ指定する。事業者の財政的なチェックを行なう仕組みにはなっていない。

問 廃止された直後に新たな事業者が入るが、その詳細は。

答 法人の財政難から廃止となったが、従業員と利用者とは新たに事業者がそのまま引き継ぐ。

問 4月から社協が運営す

る「じじみの郷」が休止となるが、利用者や職員の今後は。

答 利用者は他の事業所に移っていた。職員は、東郷テイクなど社協内部での異動となるが、退職者もある。

子育て支援金を 新たに徴収

☆「子ども子育て支援金」は、少子化対策の財源を安定的に確保するため、令和8年4月から医療保険料に上乗せして徴収する新たな制度。

本町の国民健康保険では、1人当たり月額230円、1世帯当たり350円の徴収を見込んでいる。

問 国の試算では、令和10年には400円に上がるが、徴収方法は。

答 ことも・子育て支援を拡充するため、社会保険料から徴収する。

いづれでも誰でも通園制度

町内2園で実施

☆たじりこども園、とうごうこども園の町内2園で実施し、0～2歳児が対象。在園児と合同保育を行なう一般型とし、専任保育士を配置して運営する予定。

受入れの開始予定時期は5月頃からで、利用時間は8時30分から11時30分、月10時間まで。利用料は1時間当たり300円とする。

利用にはオンライン申請による認定が必要で、初回面談後に予約利用となる。今後は保育士確保やシステム整備、住民周知を進める。

問 専任保育士はパート勤務か。

答 保育士資格を持っているパート職員の配置を予定している。

問 認定申請や初回面談は誰が対応するのか。

答 認定申請の受付・審査および認定証の発行は、子育て支援課が担当し、その後、実施園に情報を共有。

初回面談は、各こども園の園長または担当保育士が行なう。

問 利用方法の周知が必要では。

答 受付の流れを決定した後、広報をしていきたい。

問 当日に急ぎよ行けなくなった場合には、キャンセル料は発生するのか。

答 現段階では未決定。制度の開始に当たり検討し、利用方法とともに周知を行



楽しく遊ぶ子どもたち
(たじりこども園)

なう。

問 利用希望者が増えた場合、受入れ人数の拡大や他園での実施は可能か。

答 また、当面行なわないとしている給食提供は、今後実施する可能性があるのか。

答 保育士確保や利用ニーズの状況を踏まえ、必要

に応じて受入れ拡大や実施方法の見直しを検討する。給食提供は令和8年度は実施しないが、今後のニーズや他自治体の状況を踏まえ、将来的に検討する可能性はある。

☆令和元年に計画を作成したが、物価高騰や新たな人口ビジョンを考慮し、計画の再検討を行なう。

戸数は減らす方針であるが、各地域の住宅状況や町営住宅のニーズなどを考慮し、必要な戸数を維持する。

問 町営住宅を新設するのではなく、民間の賃貸住宅を活用する方法は。

答 民間アパートの活用や借上げは、重要な選択肢と認識し検討している。

羽合地域は賃貸住宅が一定数あり、家賃補助を組み合わせ活用も可能。泊地域のように賃貸住宅が少ない地域では、町営住宅の必要性も高い。

問 住民の利便性を重視し、集約を進めるべきではないか。

答 集約化は、長期的視野と地域の事情を踏まえ、検討していく。

町営住宅等 長寿命化計画を改定

町政をただす



3月定例会では10人の議員が一般質問を行ない、活発な議論を展開しました。
一般質問とは、議員の日常の活動と調査研究、住民の声や自身の考え方にもとづき、町長や教育長の方針を問い質すものです。

質問時間は、答弁も含めて1人60分以内で、質問回数に制限はありません。

質問者	質問事項	ページ
浜中 武仁	町政運営の課題は	11
南 克憲	不法投棄への対策は	11
光井 哲治	予算編成方針と財政計画の見通しは	12
小川 遊	ウェルビーイングの把握と医療体制の適切性は	12
三谷 侑生	地域おこし協力隊の活躍に向けて	13
	SNS活用・広報強化で住民参加の促進を	
松岡 昭博	農地を守るために集落営農の推進を	14
	要支援者対応をどうする	
米田 強美	補助金の見直しを	15
	選挙投票の移動支援は	
増井 久美	給食費無償化はどうなる	16
	肺がん検診にCT検査を	
森 哲也	交通弱者・観光客のためにライドシェア事業の導入を	17
	新たな観光案内所・松崎駅の展望は	
小泉かさね	人口減少期にある行財政の展望は	18

町政運営の課題は

町長

町民とともに歩む



はまなか たけとし
浜中 武仁

【浜中】初当選時の所信表明を踏まえ、5期20年間の町政運営をどのように総括しているのか。また、人口減少など社会環境の変化を踏まえ、今後の町政運営の課題をどのように捉えているのか。

【町長】「湯梨浜は一つ」を基本理念に、町民と意思疎通を図り、ともに歩む町政を実施。三八市の会の総務大臣表彰も、3地域の方々が融和を図り、町を創ってきた成果。課題は人口減、基幹産業たる農業・観光業の回復など。

【浜中】町政運営の経験や課題を踏まえ、第5次

湯梨浜町総合計画に込めた基本的な考え方と、将来の町の姿をどのように描いているのか。

【町長】「住みやすく魅力と活気あふれる愛のまち」をスローガンとして、安全で住みよく、資源を生かし、多くの人々が集うまち、これが本町の理想形だと考えている。

【浜中】残された任期、その先を見据え、今後の町政運営と本町の将来に対し、どのような姿勢、思い、覚悟で臨まれるのか。

【町長】町民と一緒に、魅力あふれるまち、誇りをもって住める湯梨浜を願い、全力を尽くす。



総務大臣表彰を受けた
三八市実行委員会

不法投棄への対策は

町長

県と連携を強化し、取組を継続する



みなみ かつのり
南 克憲

【南】町内の山林などで見られる不法投棄に対し、町が把握している現状と放置による悪影響は。

【町長】人の目につきにくい場所に、多くの不法投棄が行なわれており、原因者が特定できないのが現実。

不法投棄を放置すると、ごみを捨ててもよい場所と認識され、連鎖的に不法投棄が増加し悪環境を生む。また、土壌・水質汚染により生態系を脅かす。

【南】特に懸念されるのが2030年代に寿命を迎える太陽光パネルだ



町内に設置された不法投棄警告看板

が、高額な処分費が自己負担となれば、さらなる不法投棄を招く恐れがある。

これに対し、町としての処分方針や個人向け設置補助金の継続可否、そして何より不法投棄を未然に防ぐための具体的な対策についての考えは。

【町長】温暖化対策として、太陽光発電設置補助を増額してさらに推進を図るが、撤去に多額の費用が発生することを周知する必要はある。

太陽光パネルにかかわらず、不法投棄の対策について、県との連携を強化し、取組を継続する。

予算編成方針と 財政計画の見通しは



みつ てるはる
光井 哲治

町長

成果重視の編成と 持続可能性重視へ転換



行財政編成の要
(総務課財務管財係)

【光井】令和8年度予算編成に向け、財務規則第10条に従い町長から主管課長に予算編成方針の指示が出される。その内容と指示はどのようなものであったのか。

【町長】少子高齢化や物価高騰により財政が厳しい中、既存事業を抜本的に見直し、選択・集中を徹底し、効果的・効率的で成果重視の予算編成を行なうよう指示した。

【光井】予算編成と財政計画は表裏一体にある。現状をどのように判断しているのか。

【町長】本町は健全団体

の範囲内にあるが、少子高齢化と人口減少、物価高騰による税収減と経費増が進み、財政の硬直化が進む厳しい状況と判断している。

【光井】今までどおりの予算編成では、財政調整基金は5年後には枯渇するのではと推測される。町長は財政運営計画の現状をどのように判断しているのか。

【町長】基金枯渇の懸念がある中、合併特例債の終了により従来型の運営は限界。持続可能性を重視した財政運営への転換が必要と判断している。

ウェルビーイングの把握と 医療体制の適切性は



おがわ ゆき
小川 遊

町長

定期的にアンケートを実施し 施策の方向性を検討していく

政策評価基準の転換
「数字」から「安心感」へ



必要な時に適切な医療にアクセス
できるなど、安心して生活できる
ウェルビーイングな町へ

【小川】住民の生活の質や安心感を示す「ウェルビーイング」の視点から、町が現状をどのように把握しているのかを確認する。また、町内の医療体制の適切性について問う。

町は住民の生活の質や安心感をどのように把握しているのか。

ウェルビーイングの視点からの測定方法や政策判断への活用状況は。

【町長】本町では住民の満足度や暮らしやすさを把握するため、定期的にアンケートを実施し、施

策の方向性を検討している。また、地域資源を活用した様々なプロジェクトを推進し、ウェルビーイングの向上をめざしている。

【小川】医療施設数だけでなく、医療へのアクセスや住民の安心感などの観点から、町内の医療体制をどう考えているか。また、今後の方向性は。

【町長】医療や健康に関する調査を行ない、医療施設への満足度や健康意識を把握し、医療体制の改善に役立てている。

地域おこし協力隊の活躍に向けて



三谷 幸生
み た に ゆ う き
三 谷 侑 生

あらゆる面で必要なサポートを行なう

町長

【三谷】都市部の人材が地方へ移住し、地域課題の解決に取り組む地域おこし協力隊制度。町にとって人材確保や事業推進力の向上、国の財政支援などの利点がある一方、隊員へのマネジメント負担や活動内容のミスマッチなどが課題。これまでの本制度活用の評価は。

【町長】様々なイベントの企画・立案を行なっており、地域住民と親密な交流がある。周りを巻き込みながら、楽しいと感じてもらえる環境を創り上げている。

【教育長】町民の健康づくりを目的とし、様々な活動を通して、その役割を十分に果たしていただいている。

【三谷】隊員が能力を十分に発揮し、活動の効果を高めていくためには、目的の共有や不安・孤立の解消、これまでのノウハウの活用など、マネジメントの強化が重要と考えるが、今後の方針は。

【町長】地域住民や地元企業と連携し、お互いが協力できる環境を整え、隊員が地域の一員として溶け込めるよう、あらゆる面でサポートしていくことが必要である。地域の持続的発展につながるよう努めていきたい。



ME TIME!
(協力隊員が主催したイベント)

SNS活用・広報強化で住民参加の促進を

町長

各種SNSを活用し

研究を進めていきたい

【三谷】広報の役割は、

町の情報を分かりやすく伝え、町民の信頼を獲得し、主体的な参加・協働を促していくこと。本町の広報の現状をどのように認識しているか。

【町長】課題として施策の「結果」だけでなく「なぜその施策が必要なのか」というプロセスや背景の解説が不十分な面がある。読み手が「自分事」として捉えやすく、町民がどう感じ、どう施策に反映されたかを伝えていきたい。

【三谷】町民と一緒に町政を進めていくためには、SNSを活用した双方向のコミュニケーションが有効。町公式LINE



SNSが人と町をつなぐ
(町公式LINE)

Eのさらなる活用や、一般のSNSユーザーとの連携で、発信力強化や町民参加の拡大につながるかと考えるが、SNSを活用した今後の広報戦略は。

【町長】地域おこし協力隊が各種SNSを活用

し、町の魅力発信に取り組んでいる。また、今後は政策立案の参考となるようアンケート機能の活用や、意見募集の実施など、一定のルールのもとでの活用について研究を進めていきたい。

農地を守るために 集落営農の推進を



まつおか あきひろ
松岡 昭博

町長

法人化やスマート農業導入を支援



ヘリコプターによる水稻防除

【松岡】地域計画における水田の担い手、集落営農への集積状況は。そして、今後、水田をどのように管理していくのか。

【町長】集落営農12組織が水田の約2割を集積。

今後は担い手への集約に加え、地域ぐるみの保全や作物転換を支援し、農地の適正維持と有効活用の両立を段階的に図る。

【松岡】地域の農地を守り、地域コミュニティを活性化するため、協業経営型集落営農を推進してはどうか。

【町長】集落営農は12組

織に増加し、うち10組織が協業経営型。今後は法人化やスマート農業導入を支援し、持続可能な農業経営を推進する。

【松岡】本町の農業は、様々な担い手で維持されている。小規模農家などに対する支援は行なわないのか。

【町長】認定農業者への重点支援を基本としつつ、地域を支える小規模農家など、多様な担い手への支援も、財源や効果を勘案し段階的に検討する。

要支援者対応をどうする

町長

実効性ある防災体制を推進

【松岡】避難方法や避難経路、場所などについてもっと災害想定に沿った訓練を実施すべきではないのか。

【町長】防災訓練では、併催した講演会会場への避難としたため、避難経路に矛盾が生じた。引き続き参加者からいただいた反省点を改善しながら、より実態に沿った訓練となるよう検討していく。

【松岡】防災訓練の講演を踏まえ、要支援者などどのように対応しようとしているのか。

【町長】「互近助」の精神を基本に、要援護者台帳の整備と個別避難計画を推進する。本人の同意



自主防災組織で避難訓練

を得た上で情報を共有し、地域での「支え愛マップ」作成を支援していく。

【松岡】多くの防災士に関わっていただくため、地区の防災活動はもとより、町総合防災訓練の避難活動、避難施設の運営

などにも関わってもらってはどうか。

【町長】防災士を各地区に1人以上配置することをめざす。今後も研修などを通じて技能向上を図り、災害時の避難誘導や避難所運営の場面でリーダーシップを発揮できるように支援していく。

補助金の見直しを

町長

定期的な見直しを継続する



よねだ つよみ
米田 強美

【米田】物価高騰などにより社会情勢が変化しているが、補助金の見直しを行なってきたか。

【町長】目的、効果、必要性、公平性の観点から定期的に見直ししている。

【米田】地域サロンでお菓子を囲んでの会話は認知症予防に資する。お菓子を補助対象にすることはできないか。

【町長】栄養改善活動に係る食材および飲食費は対象だが、単なるおやつは対象外。

【米田】文化財保護団体への育成補助金について、補助率の見直しを。また、飲食代にも補助を。

【教育長】団体の主体性の尊重と、他の補助金との整合性を図る。飲食代は、公的助成において一般的に対象外。



毎週楽しく集い合う
(とねり地区ふれあいサロン)

【米田】視覚障がい者の日常生活用具の基準額引上げの検討、結論はいつになるか。iPhoneへの補助基準額の見直しを検討を。また、障がい者タクシードラッグ補助金の見直しは。

【町長】中部圏域の均衡を保つため、各市町の状況や改正予定などを継続調査している。iPhoneへの補助引上げは、各市町と慎重に協議・検討してみたい。交通弱者対策は、住民ニーズをなるべく拾い上げられるよう検討していきたい。

選挙投票の移動支援は

町長

選挙管理委員会が

検討を重ねている

【米田】先の衆議院議員選挙の期日前投票は、前回と比べて増えており、今後も増えると推測する。

令和4年の議会では選挙投票の移動支援を取り上げ、令和5年には他市町の取組を参考に、次回国政選挙の際に移動支援など、可能な投票機会の提供を施行するとの回答があった。しかし、先の選挙では実施されていない。



他自治体で実施している移動投票所
(出典：総務省ホームページ)

【町長】平成21年4月に投票所を現在の12か所に減らした。その直後の選挙では、選挙当日の送迎バスおよび期日前投票所への巡回バスを運行。しかし、利用者が少なく、現在は実施していない。

町選挙管理委員会では、

は、県による他市町での支援状況のとらめと結果や、直接の他市町への聞き取りを踏まえ、本庁舎で行なう期日前投票所への送迎など、移動支援を含め、投票率向上のための検討を重ねている。

給食費無償化はとうなる



まずい 久美
増井

町長

無償化ではなく 抜本的な負担軽減



みんなで楽しく学校給食

【増井】多くの人たちの要求により、国は学校給食費無償化の方向性を示した。しかし、突然の衆議院解散で内容は明らかにされていない。令和8年度に無償化が実現するのか問う。

国の方向性はとうなっているのか。何か通達があったのか。

【町長】財政の持続性維持などのため、国の基準を超える食材費分は引き続き保護者負担とする。

【教育長】交付金により月額5千200円を支援し、小学校の負担を現在の約6分の1に軽減する。

【増井】小学校給食費の無償化が実現すれば、中学校給食費も無償化をめざすべきである。町で支援し、まずは引き下げてはどうか。

【教育長】国の中学校への支援拡大を注視しつつ、食材高騰への補助を1食当たり79円に増額し、負担軽減に努める。

肺がん検診にCT検査を

町長

技師不足などの課題がある



肺がんのCT検査装置
(出典：(公財)鳥取県保健事業団)

【増井】町は、企業版ふるさと納税を活用して「新たながん検診推進支援事業」を実施し、大腸内視鏡検査と胸部CT検査費用の助成を始めた。ここでは、肺がん検診について問う。

現在の申し込み人数は。また、町民に対して本事業の必要性をどのように説明しているのか。

【町長】申込状況は実施済6名、予約済2名。企業版ふるさと納税を活用し、高精度な検査を自己負担なく受けられる社会実験として、早期発見の重要性を周知している。

【増井】この検診が、国立がん研究センターのガイドラインで示されている

る低線量CT検査と同じものであれば、町の検診に取り入れてはどうか。

【健康推進課長】重喫煙者への低線量CT検査は国の指針で「推奨グレードA」に該当する方式であり、本事業では学会のガイドラインに則り適切に実施している。

【増井】中部全体での取組にならないのか。また、国や県にも働きかけをするべきではないか。

【健康推進課長】現在は中部圏域の2施設で対応中。技師不足などの課題はあるが、周知啓発を強化し受診率向上を図る。

交通弱者・観光客のために ライドシェア事業の導入を



もり 森 哲也

町長

共助交通の普及を進める

【森】暮らしの根幹であるウェルビーイングを実現する重要な手段が公共交通である。

町としては交通手段の不足と今後の方針をどのように捉えているのか。

【町長】町としては、現在の公共交通を活用しやすいよう、各種の取組を行なっている。また、各種事業について、町民へ十分に浸透していない点もある。情報に触れる機会を増やしていきたい。

【森】大規模な予算を必要とせず、既存事業とも

共存できる「ノックル」というライドシェア事業がある。導入に当たって先行事例を参考にすることもできる。ライドシェア事業についてどのように捉えているか。また、移動手段確保のための具体的な方針はあるか。

【町長】本町では、支援事業として共助交通を行なっているが、町内1地区のみの利用となつている。他の地区への普及を進めるとともに、交通手段（移動手段）の不足が予測された場合には、速やかに対応していきたい。

【森】観光案内所の予定地として候補に挙がっている土地はどこなのか。また、新設するのであれば、その予算はどの程度なのか。全体的な概要は。

【町長】地域共創型観光推進事業のうち、委託料のみ約490万円の国の内示通知をもらっているだけで、具体的な検討には入っていない。

【森】なぜマンゴー栽培に至ったのか、その経緯とこれからの展望は。

【町長】町内企業が、マンゴー栽培の計画を具体的に検討される中で、温泉利用の話があった。展望については、果物の大きな拠点施設を検討している。

【森】現在、JRは松崎駅のシンブル化工事を進めようとしているが、駅舎を残し、この駅を新たな観光案内所としても活用することで予算も抑えられ、町内外から訪れる人々との交流地点とする

【町長】現状としては、はわい温泉が最も宿泊客が多い場所でもある。松崎駅前と並行して検討していきたい。

【森】現在、JRは松崎駅のシンブル化工事を進めようとしているが、駅舎を残し、この駅を新たな観光案内所としても活用することで予算も抑えられ、町内外から訪れる人々との交流地点とする



各地で広がるライドシェア事業

新たな観光案内所・ 松崎駅の展望は

町長

具体的な検討には入っていない



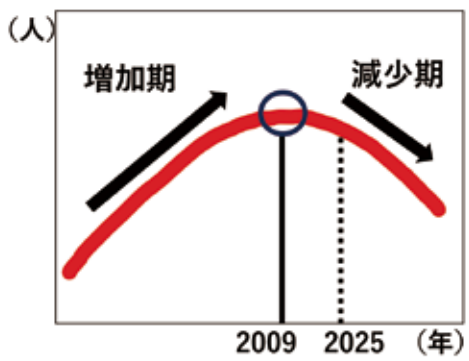
町民とJR職員とで松崎駅駅舎検討会を開催

人口減少期にある 行財政の展望は



こいずみ 小泉 かさね

町長 積み上げ型の 行財政システムから脱却



人口増加期と減少期
同じシステムで大丈夫？

【町長】現在の行財政の仕組みは人口増加期に構築されたものであり、人口減少期にある現在、仕組みそのものを見直す時期に来ている。経常収支比率が約90%と硬直化している中、今後、重点を置く予算獲得方法は、

【町長】経常収支比率が92・6%に達し、新たな事業などへの支出が限定的になる財政（財布）事情である。従来の「積み上げ型」行財政システムの根本的な見直しに着手している。

【小泉】事業の実施に際し、予算をかけない方法・工夫は。

【町長】デジタル技術による行政運営の効率化を進める。また、生成AIの導入・活用により増大する事務事業などの効率化を図っていく。

【小泉】人口増加期に構築された行財政の仕組みを、現在の人口減少期という社会構造に応じた組織・実施形態にするための、今後の改善の展望は。

【町長】多様化が進む社会情勢の中、役場だけでなくすべての行政ニーズへ対応することは困難。人口減少、高齢化の中で「地域との協働」を推進し、一緒に質のよい行政サービス方法を模索していく。

委員会 レポート

総務産業常任委員会

視察報告 公共下水道の広域化による経費削減効果／農の営みを将来に繋ぐ営農方式

11/4 岡山県岡山市

下水道の広域化が進んでいる岡山市において、次の事項について調査した。

- ①統廃合の進め方
- ②統廃合による経費削減効果 など



松岡 昭博 委員長

岡山市では公共下水の県の流域下水道への接続により、年間約5700万円の維持管理費と事務費を削減することができた。本町でも人口減少や老朽化に伴い、経費削減のため施設の統廃合は必要だと考える。

11/5 愛知県豊田市

集落営農により農業、農村の維持、活性化に取り組んでいる（一社）押井営農組合において、次の事項について調査した。

- ①集落営農の活動範囲
- ②「自給家族」の効果 など



南 克憲 副委員長

押井集落は、法人化した営農組織で全農地を集積し、米の契約栽培を行なっている。活動範囲の拡大や米の実需者である自給家族の増加により、中山間地の水田保全に効果的で、本町においても参考にしたい事例である。

町民から寄せられた 「行政、議会に対するご意見」への回答

「令和7年度ふれあい意見交換会」でいただいたご意見を取りまとめ、所管委員会において協議を行なった後の、議会としての回答や町執行部からの返答の一部をご紹介します。

ぼうさいこくたい（防災推進国民大会）の周知を

- 問 鳥取県中部地震から10年という節目に倉吉で開催される「ぼうさいこくたい」を周知してほしい。
- 町 「ぼうさいこくたい」は令和8年10月17日（土）・18（日）に倉吉市で開催される。本町としても県・他市町と連携して広報活動を積極的に行ない、機運の醸成を図りたい。

自治公民館へのLED化に補助を

- 問 公民館の会議室に蛍光灯があるが、LEDに変えなければならない。町で補助制度を作ってほしい。
- 町 「集会所新築工事等補助金」で、照明器具の修繕（LED化含む）についても補助の対象としている。

女性や子育て世代の声を拾い上げる工夫を

- 問 ふれあい意見交換会の開催日時が平日の夜では、女性が参加しづらい。女性や子育て世代の声を拾い上げる工夫を。
- 議会 議員のなかで話し合いながら検討していきたい。ふれあい意見交換会以外でも、各団体からご要望をいただければ議会が各団体に伺う仕組みもあるため、ぜひご利用いただきたい。

地域づくりリーダーの養成を

- 問 それぞれの区の課題を共有し、お互いの取組から学ぶ場がとても少ない。そこで地域づくりのリーダーを継続的に育成する場がほしい。
- 町 区長や区の役員、そして地域づくりに興味がある人を対象に、専門家によるセミナーの開催を検討したい。

保育現場の負担軽減を

- 問 「こども誰でも通園制度」は保育現場での負担が大きく、保育士が不足している現状では、対応が困難ではないかと危惧する声があるが、その対応は。
- 町 本制度の利用ニーズは未知数であり、状況をみながら保育士確保に努め、安心して制度を利用できる実施体制を構築していく。

ホームページでも公開中！

このほかにも、いただいたご意見に対する回答は順次、町ホームページにアップしていきます。

意見交換会のページは
右のQRコードから👉



町民インタビュー

「長瀬をつむぐ、相田市」

さあ たいち のぶ お
長瀬地区振興協議会 会長 西原 信男さん

相田市を主催する長瀬地区振興協議会の、西原さんにお話を伺いました。
(聞き手 三谷)



Q：相田市は、どんな祭ですか？

江戸時代、長瀬地区のさあ田んぼのそばに浮かんでいた神像を祀り、豊作を祈願したことが始まりです。明治時代には「祭」から「市」へと名前を変え、農具や苗の露店販売などでにぎわいました。春を迎える住民交流の場でもあり、100年以上続く伝統行事です。

Q：今年も、多くの方でにぎわっていますね！どんな催しがありますか？

恒例のさあ田饅頭・煎餅の販売や、フラダンス・和太鼓などのステージショー、しじみ汁の無料提供、地域の方々やキッチンカーによる出店、ゲームコーナー、抽選会などです。

Q：子どもたちも、食べて遊んで、楽しそうですね！開催に当たって

ての工夫はありますか？

相田市は、住民や環境の変化にあわせて、姿を変えてきた歴史があります。以前の開催場所は勝福寺が中心でしたが、アロハホールに移して、今年で2回目になりました。伝統と長瀬地区の振興を大切にして、持続可能な姿を模索し、未来につないでいきたいです。

Q：歴史や思いが受け継がれていくとよいですね。相田市の他にも取組はありますか？

長瀬に10ある区の振興と住民交流を目的として、秋には長瀬各所を歩いて巡るスタンプラリーや、ふれあい交流祭を計画しています。



議会の傍聴をお気軽に

傍聴は議会の審議内容や、議会活動、町政の内容などを知ることのできる身近な方法です。どなたでも傍聴できますので、役場3階へ、お気軽にお越しください。議会の日程は、広報ゆりはま、防災無線放送、町ホームページでお知らせします。

次回の定例会は

6月10日(水)～
午前10時開会

※日程は変更になる場合があります。
詳しくは町ホームページへ。

編集後記

鮮やかな新緑とともに、農作業も忙しく活気にあふれる季節となりました。

昨年の議員改選から早くも1年が過ぎ、新しい議員の皆さんも、議会の1年間の流れが見えたと思います。

本年度は「第5次湯梨浜町総合計画」がスタートする年でもあります。新しい議員の発想と、ベテラン議員の経験を結集し、行政と議会が車の両輪のごとく一体となり、より住みよい湯梨浜町をめざし、努力を積み重ねていきたいと思えます。

今後も町民の皆さまの声に耳を澄まし、議会に反映していけたらと思います。

(記 河田)

【編集】
議会広報常任委員会